

魅力満載!! 三江線

江の川沿いの風情



《19》

三次駅の三江線乗り場、西に造られた。最後に

は「0番線」。ハリー・ポッターに出てくるキングス・クロス駅「9と4分の3番線」という乗り場もどうかと思うが、0番線にもびっくりする。通常、ホームに振られた番号は駅舎側から順番に1番線、2番線、3番線とつけるらしく、三次駅の場合、芸備線が1番線、福塩線が3番線となっている。なぜ三江線は0番なのか？

乗り入れている三つの線のうち、一番遅くに開通した三江線は、芸備線1番線ホームの五十はほり立ち、三次の街を散策

少し離れた0番線で乗降客を待つ三江線は、ここから江津までの一〇八キロ走り抜こうと小さな車体にエネルギーを蓄えているようで愛らし



三次駅0番線

古い町並み散策の入り口



JR三次駅の三江線0番線ホーム

一步裏通りに入ると、金をつらねる古い町並みも物屋、米屋、酒屋など趣のある商家や、民家が軒また、私はこの町に伝

残る。 わる三次人形という、土などでかたどった素朴な形の人形は、鮮やかに彩色され、にかわの塗布を行う。光人形とも呼ばれ、子どもが生まれたら三次人形を贈る風習が今でも残っている。

そしてぜひ足を延ばして訪れてほしいお勧めの場所がある。二〇〇六年四月にオープンした「奥田元宋・小由女美術館」(入館料八百円)だ。

三次市吉舎町出身の日本画家の奥田元宋氏と夫人で人形作家の小由女さんの作品を集めた美術館は、元宋氏の作品のモチーフとなった月にちなみ、満月の夜は午後十時まで、開館時間が延長される。

「日本で一番、月が美しく見える美術館」の月を、元宋氏の絵とともに鑑賞してみても、いかがだろうか。

(邑智郡広域振興財団・高橋由美、美郷町都賀本郷在住)

隔週土曜日掲載